

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 4 区分
 【発行日】平成20年12月25日 (2008.12.25)

【公表番号】特表2008-525223(P2008-525223A)
 【公表日】平成20年7月17日 (2008.7.17)
 【年通号数】公開・登録公報2008-028
 【出願番号】特願2007-548112(P2007-548112)
 【国際特許分類】

B 2 9 D 30/44 (2006.01)

【F I】

B 2 9 D 30/44

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月4日 (2008.11.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

柔軟材料のバンドまたはストリップを、前記ストリップまたはバンドの先端が開始位置から終了位置まで下流方向に移動するように、取り上げ、変位させ、そして配置する装置を有する組み立て品であって、該装置は、

フレームと、

少なくとも、第 1 回転軸線を有している第 1 ローラと、第 2 回転軸線を有している第 2 ローラとの上を移動するコンベアベルトと、

前記ストリップまたはバンドを前記コンベアベルト上に保持する保持手段を備えている保持ユニットと、

を有し、

前記フレームは前記第 1 ローラを備えており、前記保持ユニットは前記フレームに変位可能に取り付けられて前記第 2 ローラを備えており、該装置は前記保持ユニットの前記変位中に前記コンベアベルトを張られた状態に保つテンション手段をさらに備えており、前記第 2 ローラは前記第 2 回転軸線が前記開始位置の上流にある第 1 位置を有している、組み立て品において、

切断線に沿って前記開始位置と前記終了位置との間に配置されている前記バンドの端部からストリップを切断する切断装置をさらに有し、

前記装置は、動作時には前記切断装置を越えて上流に延びて前記バンドをその端部で取り上げ、それから動作時に前記第 2 ローラの前記第 1 位置が前記切断線の上流にある状態で、前記バンドの前記端部を前記切断装置を越えて下流に通過させるように、前記切断装置の下流に配置されていることを特徴とする組み立て品。

【請求項 2】

前記バンドは、前記バンドの長さ方向に延びている複数の補強コードを備えており、前記切断装置は前記複数の補強コードに対してある角度の前記切断線で切断するように配置されている、請求項 1 に記載の組み立て品。

【請求項 3】

前記バンドを前記切断装置に供給方向に供給する供給装置と、

前記切断装置によって切断されたストリップを排出方向に排出する排出装置と、
 をさらに有し、

前記装置は前記供給装置から前記バンドを取り上げて、前記バンドの前記端部を前記切断装置を越えて搬送し、その後、前記切断装置によって前記バンドの前記端部から切断された前記ストリップを前記排出装置に搬送する、または前記バンドの前記端部を前記排出装置に搬送するように配置されている、
請求項 1 または 2 に記載の組み立て品。

【請求項 4】

配置ユニットは、前記供給方向に平行な長さ方向の軸線を有しているコンベア部材を有しており、該組み立て品の動作時に前記供給装置から前記排出装置まで変位可能な供給面を有しているコンベアベルトを有している、請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の組み立て品。

【請求項 5】

前記保持ユニットは前記コンベアベルトに平行に変位可能である、請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の組み立て品。

【請求項 6】

前記保持ユニットは前記切断装置に向いている端部を有しており、前記保持ユニットは前記第 2 ローラを備えており、前記保持ユニットは、前記第 2 ローラが前記切断装置に対して上流にある第 1 位置から、前記第 2 ローラが前記切断装置を越えて下流にある第 2 位置まで変位可能である、請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の組み立て品。

【請求項 7】

前記供給装置はバンドを供給可能な供給表面を備えており、前記供給装置は供給コンベアベルトを有することが好ましく、前記第 1 位置にある前記第 2 ローラは、前記供給表面の上方に位置し、前記バンドまたはストリップを前記供給表面から取り上げるために前記供給表面のすぐ上方にあることが好ましい、請求項 6 に記載の組み立て品。

【請求項 8】

供給ユニットは前記供給装置に対して同一直線上を変位可能である、請求項 6 または 7 に記載の組み立て品。

【請求項 9】

前記排出装置は、製造されたストリップまたは部品を該組み立て品から排出可能な排出表面を備えており、前記排出装置は排出コンベアベルトを有することが好ましく、前記第 2 位置にある前記第 2 ローラは、前記排出表面の上方にあり、前記バンドまたはストリップが排出される前記排出表面のすぐ上方にあることが好ましい、請求項 6 から 8 のいずれか 1 項に記載の組み立て品。

【請求項 10】

前記第 1 ローラは前記第 2 ローラに対して同一直線上に配置されており、前記第 1 と第 2 ローラに概念上接している概念上の接線は前記供給表面に実質的に平行である、請求項 6 から 9 のいずれか 1 項に記載の組み立て品。

【請求項 11】

前記第 1 ローラは前記第 2 ローラに対して同一直線上に配置されており、前記第 1 と第 2 ローラに概念上接している概念上の接線は前記排出表面に実質的に平行である、請求項 6 から 10 のいずれか 1 項に記載の組み立て品。

【請求項 12】

前記第 1 ローラは前記第 2 位置を越えた下流に配置されている、請求項 6 から 10 のいずれか 1 項に記載の組み立て品。

【請求項 13】

前記供給装置は、前記供給方向が前記排出方向に対して角度を持つように、前記排出装置に対して配置されている、請求項 6 から 12 のいずれか 1 項に記載の組み立て品。